

水セキュリティ

グループサポートウェビナー

2026年6月



留意事項

- 本トレーニングは、「完全版質問書シリーズ:水セキュリティ」セッションです。中小企業向けSME版質問書にご回答される場合は、別セッション「SMEシリーズ: 水セキュリティ・フォレスト」をご確認ください。
- ご質問がある場合は、CDPヘルプセンターへお問い合わせください。
- 本トレーニングの無断掲載は禁止しております。



アジェンダ

なぜ、水セキュリティについて開示するのか？



フェア・ウォーター・フットプリントと
水インパクト評価ツール



水セキュリティモジュールの概要



水セキュリティモジュールの質問の詳細



サプライヤーにとってのメリットと主なリソース



なぜ、水セキュリティについて開示するのか？



変化するグローバルビジネス環境



地政学的分断が、貿易とグローバルサプライチェーンを再構築している。



サプライチェーンは、効率性から安全保障重視へとシフトしている。



重要資源をめぐり、産業政策および貿易規制が強化されている。



多くの生産地域において、水の管理体制への負荷が高まっている。



物理的リスクが深刻化している(水不足、洪水、水質悪化)



参考資料:地政学的変化におけるサプライチェーンのレジリエンスと水セキュリティの向上に向けた課題

水は競争力を左右する重要な要因となりつつある

ESG・サステナビリティ・スチュワードシップ → 競争力・経済安全保障・レジリエンス



水は、サプライチェーンの継続性、生産能力、コストの安定性に直接影響を及ぼす。

現在、水は、生産継続の可否、サプライチェーンの安定性、さらにはコストの予見性を左右する要因となっている。



リスクは、上流地域や複数の流域にまたがり、直接的な管理が及ばない領域に存在している。

従来、スチュワードシップの取り組みは、企業が最管理と可視性を持つ直接オペレーションに焦点を当ててきた。しかし、重大な脆弱性のほとんどは、ティア1サプライヤーのさらに上流に存在している。



その重要性にもかかわらず、水は依然として財務的な変数として扱われていない。

水にインターナル・プライシングを適用していると報告している企業は約7%にとどまり、より広範なコストを考慮している企業はさらに少ない。



水リスクは世界貿易に内在している

水不足に直面している流域に依存する生産は、貿易リスクおよび財務リスクとなりうる。

企業は、自らが管理できない水システムに依存しており、間接的ではあるものの、重大な影響を及ぼすリスクにさらされている。

80%

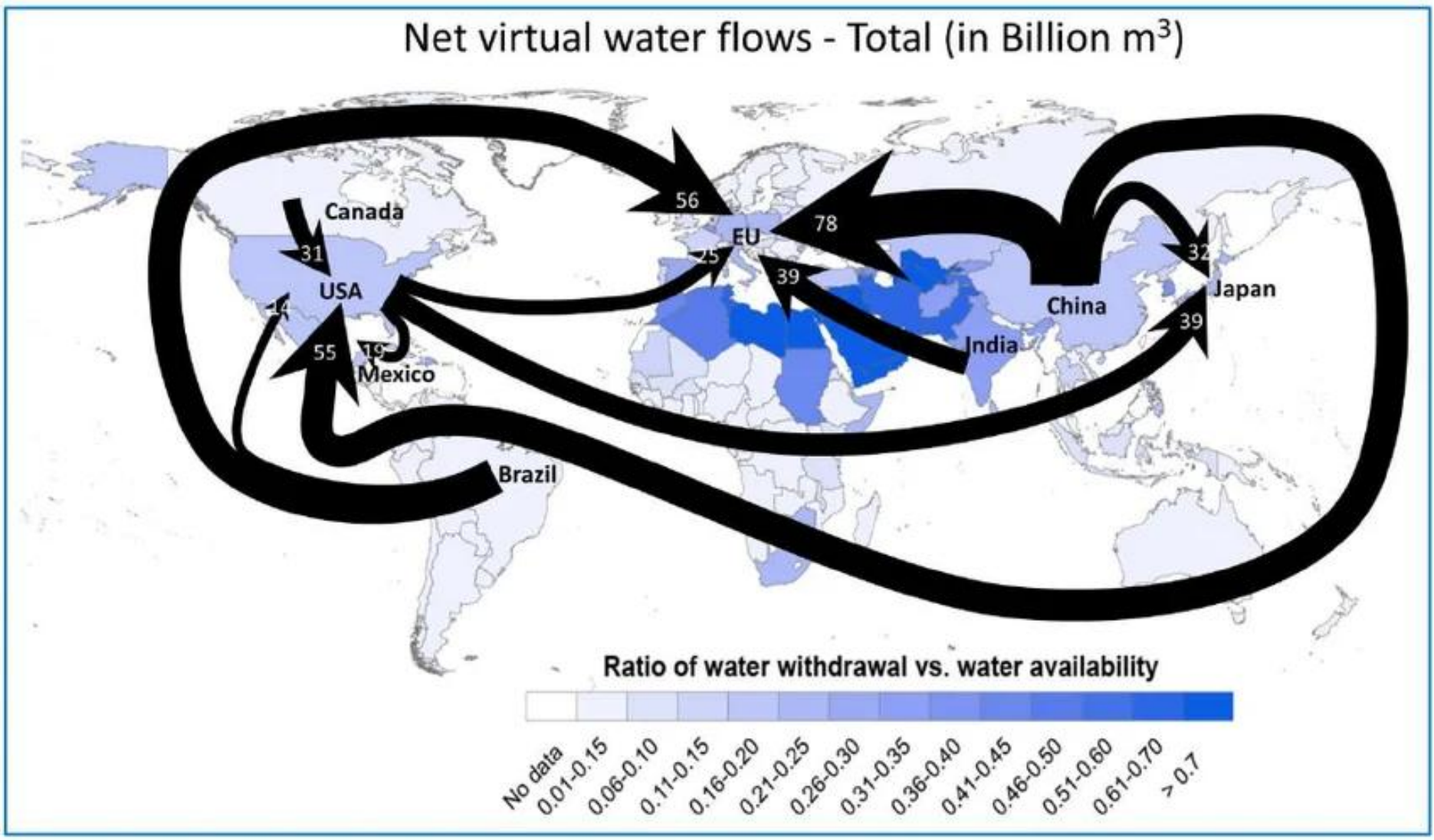
グローバル・ノースに本社を置く企業のサプライチェーン上流施設の80%は、グローバル・サウスに位置している。

56%

そのうち56%は水ストレス地域にある。



世界のバーチャル・ウォーターの流動分布



Feng, Kuishuang & Klaus, Hubacek (2015). 世界の仮想水フローに関する多地域インプット・アウトプット分析

なぜ、企業は開示を始めるべきなのか

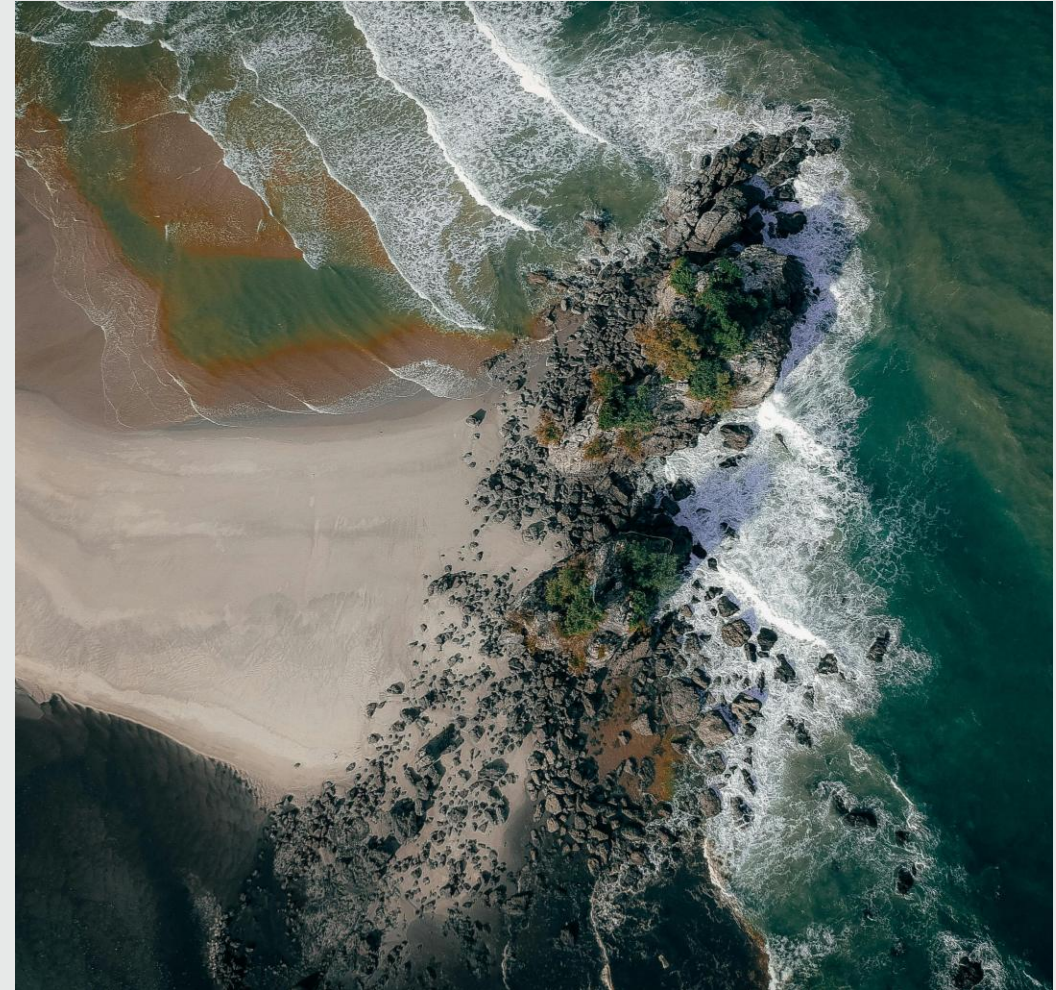
- ・水不足や洪水などの水リスクは頻発し、予測も難しくなっている。
- ・その影響はもはや局所的にとどまらず、施設やサプライチェーンを通じて事業全体に波及している。
- ・こうした中、外部環境も変化している。
 - 投資家は、水リスクの透明性向上を求めている。
 - 規制当局は、監視や開示要件を強化している。

開示企業の27%が、
水不足地域からの取水があると報告している。



水リスクの大部分は依然として表面化されていない

- 水は、グローバル・バリューチェーン全体において見えにくい要素である。
 - 消費国の経済は、バーチャル・ウォーターに大きく依存している。
 - サプライチェーンは、水ストレス地域と世界の需要を結びつけている。
- **78%の企業が**バリューチェーンのマッピングを行っている。
 - しかし、その大半はティア1サプライヤーまでにとどまっている。
 - これは、直接サプライヤー以降のマッピングが限定的であることを意味する。



フェア・ウォーター・フットプリント (FWF)プログラム



フェアウォーターフットプリント (Fair Water Footprints = FWF)



- CDP は、政策立案者、民間セクター、市民社会を結集し、責任ある水管理を世界的なビジネス規範として推進する「フェア ウォーターフットプリント」イニシアチブの主要パートナー。
- 企業は、**公正な水フットプリントのためのグラスゴー宣言**に署名することでこの取り組みに参加可能。
- 署名者は、自らが管理し影響力を持つウォーターフットプリントが2030年までに持続可能で、回復力があり、公平なものとなるよう保証するコミットメントを行う。
- 特に、**日本のウォーターフットプリントの70%以上は他国の水資源に依存**しているとの報告あり ([Towards-Fair-Water-Footprints_Global-WF-analysis_FINAL.pdf](#))。

サプライチェーンにおける水リスクは大幅に過小評価されている可能性がある。

40%

企業がサプライチェーンのリスクを評価している(CDP、2023年)。

7倍

サプライヤーをリスク評価に組み込む企業は、サプライチェーンのリスクを報告する可能性が7倍に上昇。

(CDP、2023年)。



フェア・ウォーター・フットプリントの原則

2030年までに、当社が管理または影響を及ぼすウォーターフットプリントの公正性を確保し、水および気候に関する重大なリスクを伴う事業活動・サービス・サプライチェーンにおいて、以下の原則を満たしていることを示す必要がある。



1. 水質汚染ゼロ



2. 持続可能な取水と
公平な水配分



3. 自然環境の保護



4. 安全な水、衛生
設備、および水衛生
(WASH)へのアクセス



5. 干ばつ、洪水、
気候変動、および
水紛争に対する
レジリエンス





水インパクト評価ツール


CDPのウォーター・ウォッチ・ツール



水が重要な経営課題となるのはどのような場合か

事業運営が水量や水質に依存している場合 

サプライチェーンが、水ストレスの高い流域に依存している場合 

水に関する混乱や供給の途絶が、コスト・収益・事業継続に影響を及ぼす場合 



水インパクトの評価

ウォーター・ウォッチ・ツール

- CDPが開発した評価ツール「ウォーター・ウォッチ」を用いて、各企業の水インパクトを評価することができます。
- 本ツールは、200以上の産業活動(CDP-活動分類システム)に基づき、バリューチェーンの全段階における水量および水質への潜在的な影響度に応じてランク付けを行うことが可能です。
- 活動分類に基づくこの水インパクト評価は、信頼性の高い学術的情報源および業界で認められた情報源に基づいて行われます。

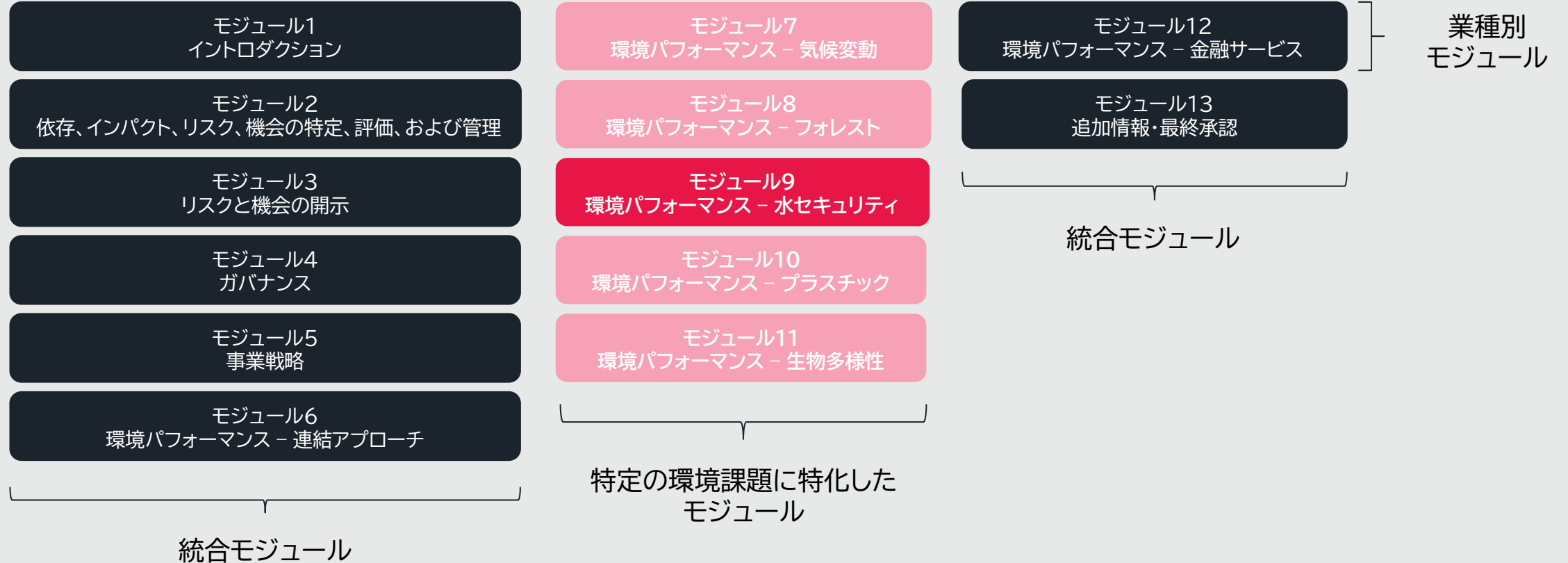


水セキュリティ モジュールの概要

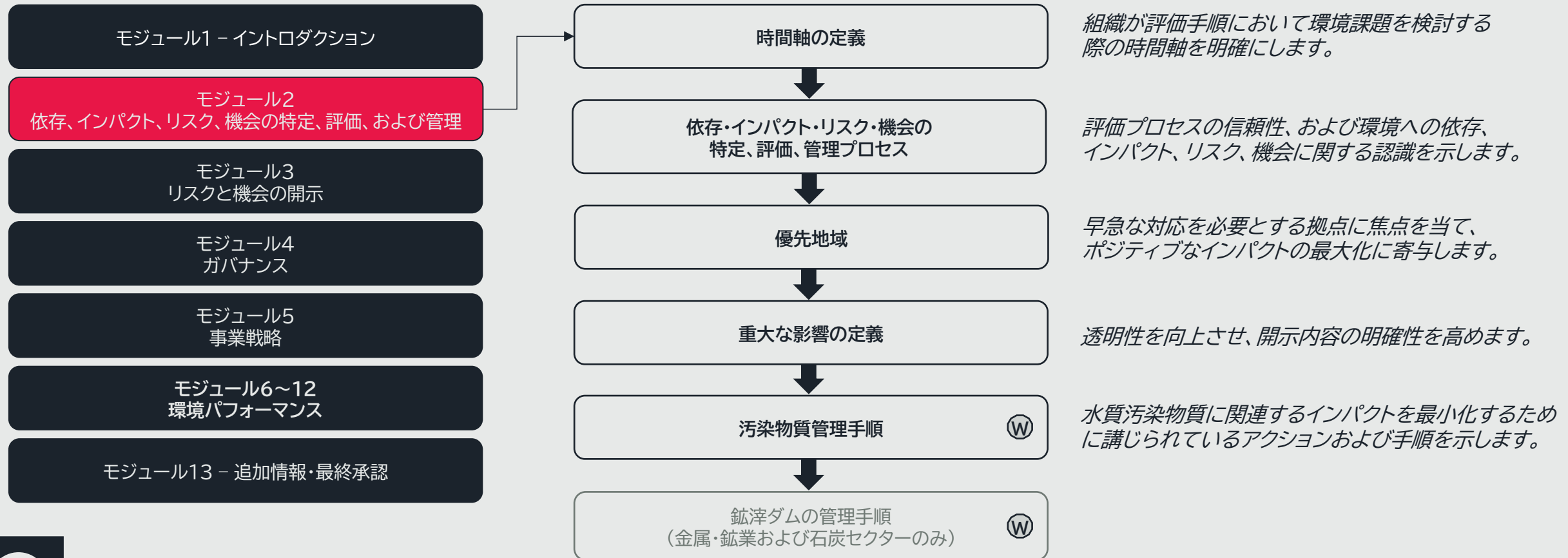
情報開示による環境パフォーマンスの向上



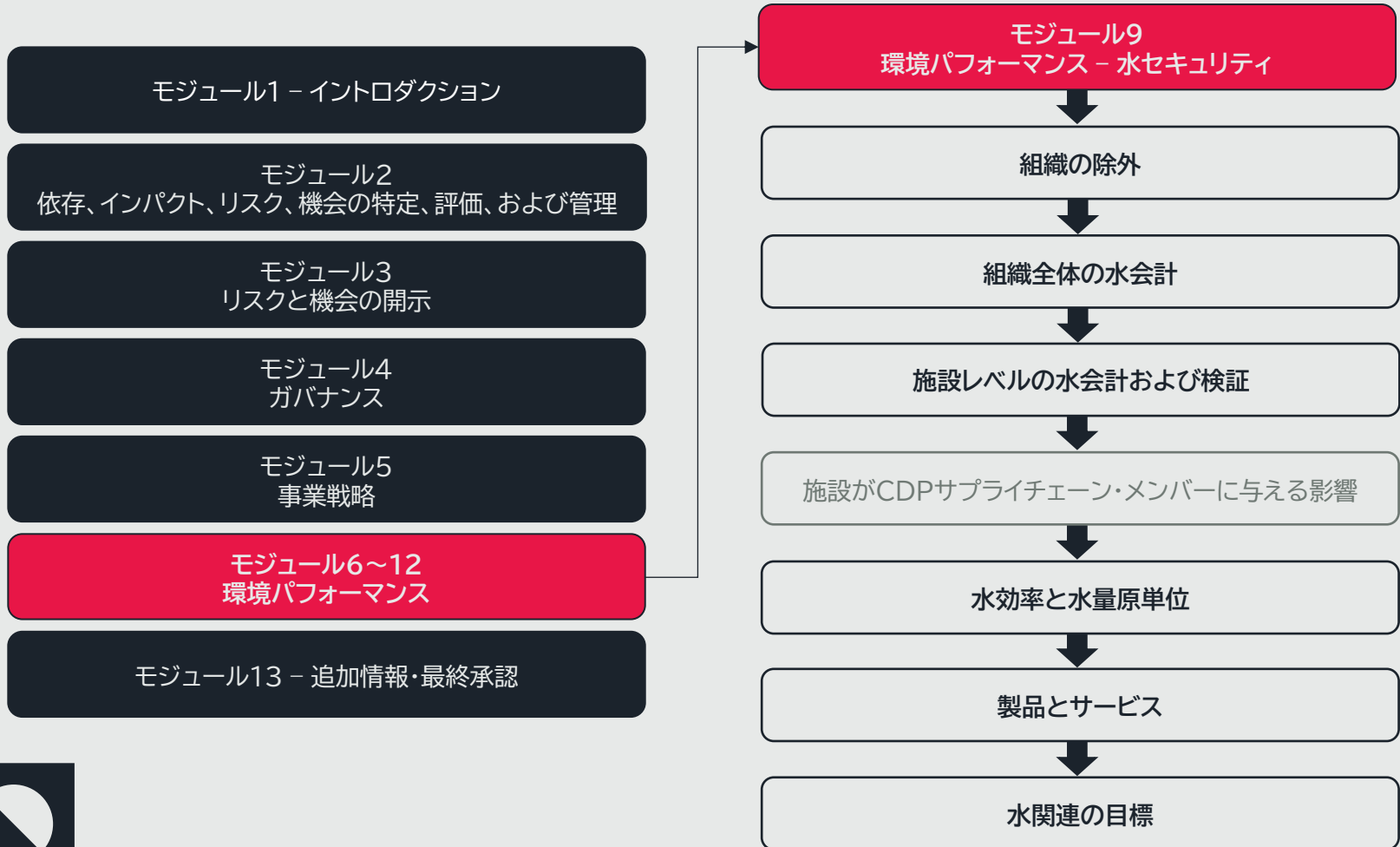
コーポレート質問書：完全版



モジュール2: DIROの特定、評価、および管理



モジュール9： 環境パフォーマンス – 水セキュリティ



包括的かつ代表性のある水データの把握を目的とします。

水使用に関する重要な要素が、組織レベルでモニタリングされているかを示します。

水関連の依存、インパクト、リスク、機会に関する認識を地域／施設レベルで示します。

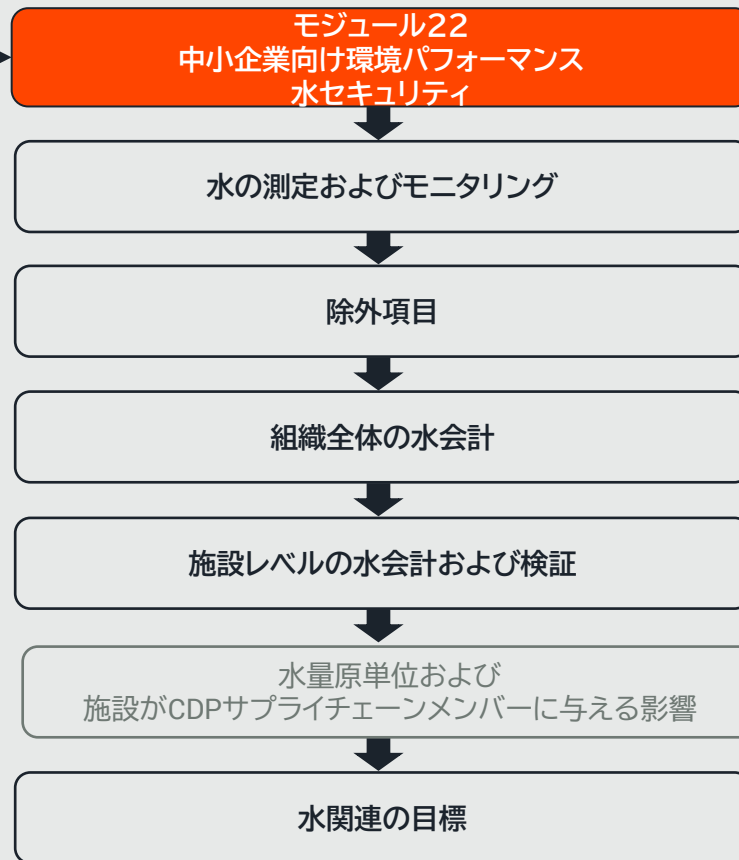
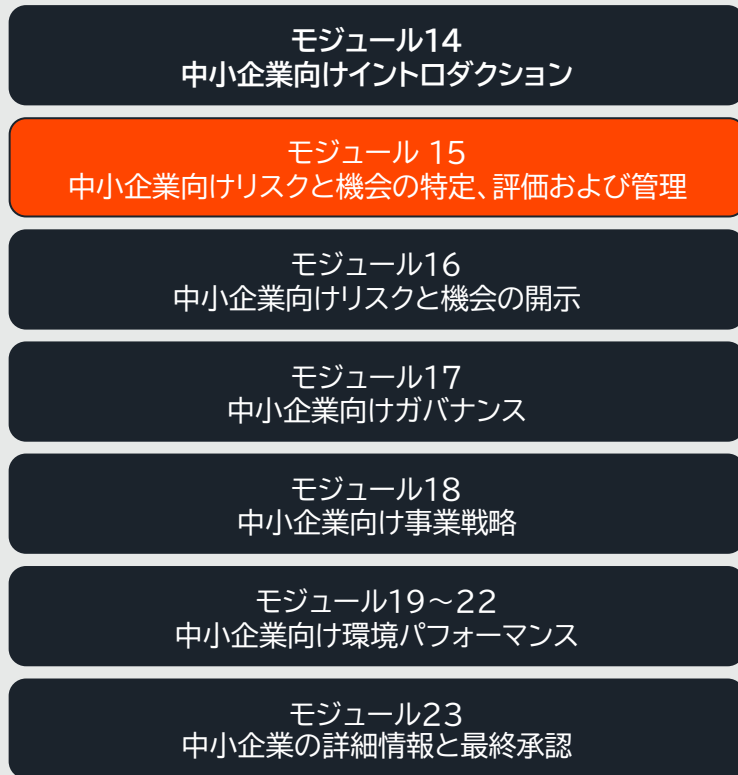
水関連の依存関係の把握を可能にし、コスト削減、ブランド価値の向上、およびイノベーションの促進に寄与します。

製品レベルにおける水関連の依存およびインパクトが、どのようにモニタリングおよび管理されているかを示します。

目標の信頼性を示すと同時に、水スチュワードシップに関する取り組みの進捗を把握します。



モジュール22: 中小企業の環境パフォーマンス - 水セキュリティ



組織が水使用の主要項目について測定およびモニタリングを行っているかどうかを示します。

組織の水に関するデータの完全性および信頼性を示します。

組織の水使用の主要項目に関する詳細を提供します。

組織が、地域または施設レベルで重大な水関連リスクまたは機会に直面しているかどうかを把握しているかを示します。

組織がCDPサプライチェーンメンバーに与える潜在的な影響を示し、購入した製品の水量に関する詳細を提供します。

組織が水管理の改善と水リスクへの対応のために講じている措置を示します。これには、目標の強度や進捗状況が含まれます。



ポイント:

水会計

(全社及び施設レベル)



このモジュールの質問では、貴組織が企業としての水循環をどれほど理解しているかを示すことができます。具体的には、水に関連する重要な側面のモニタリングに関する情報、すなわち水ストレス地域を含む取水量、処理レベル別の排水量、および水の消費量に関する定量的データが含まれます。

- **測定:** 水に関する側面について、定量化されたデータを収集すること。これは、単一の量/質の数値として、または複数の量/質の数値の集計として行われます。
- **モニタリング:** これは、測定値を時間の経過とともに追跡することを指し、すなわち測定された数値の傾向や変化の兆候を示すものです。
- **取水量:** 報告期間中に、あらゆる用途のために、すべての水源から組織(または施設)の範囲内に取り込まれた水の総量。
- **排水量:** 報告期間中に、排水およびその他の水が組織のバンダリー外へ放出された総量。これには、地表水、地下水、または第三者への排出が含まれます。
- **水の消費量:** 報告期間中に、組織(または施設)のバンダリー内に取り込まれた水のうち、水環境または第三者に排出されなかった水の量。

完全版 9.2 9.3	SME版 22.1
-------------------	--------------



事例:

9.2: 貴組織の事業活動全体で、次の水に関する側面のどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。

- 水の使用量- 施設全体の100%における月間使用総量
- 排水量- 施設全体の100%における月間排水総量
- 水の消費量- 施設全体の100%における月間消費総量

9.2.2: 貴組織の事業全体で、取水、排水、消費した水の合計量と、前報告年比、また今後予測される変化についてご記載ください。

- 総取水量: 150,000m³
- 総排水量: 30,000m³
- 水の総消費量: 120,000m³

参考情報:

水会計の定義に関するCDPテクニカルノート(英)

ポイント:



水ストレス下にある地域からの取水

なぜこれが重要なのか？

水ストレスはビジネスリスクの要因であり、今後その深刻化が予想されるため、透明性の確保が極めて重要です。水ストレスの高い地域で事業を展開していることによって生じるリスクの増大を把握することは、投資家コミュニティにとって非常に重要です。設問9.2.4では、データ利用者が、水ストレスのある流域への依存度がどのように推移しているかという傾向を把握することが可能となります

完全版
9.2.4

SME版
22.3.1

水ストレス([水ストレス下にある地域]): 水の利用可能性等、水資源に関連する物理的量の側面に注目した概念です。優良実施例として、水ストレス地域は最低限として集水域単位で測定する必要があります。水ストレスにさらされている地域を評価するために、一般的に使われている国際的な指標と、CDPに報告するための基準には以下が含まれます:

- 水の利用可能性 – リスク区分が[高リスク]以上:3.4
(WWF水リスクフィルター)
- ベースライン水ストレス– [≧高]: 40~80%
(WRI Aqueduct Water Risk Atlas)
年間総取水量の利用可能かつ再生可能な供給量に対する割合
- ベースライン水資源枯渇– 指標[≧高]: 50~75%
(WRI Aqueduct Water Risk Atlas)
年間総消費量の利用可能かつ再生可能な供給量に対する割合



ポイント： 水質汚染



なぜこれが重要なのか？

水質汚染物質は、地表水と地下水の水質およびそれらに依存する生態系に脅威を及ぼします。関連質問は、組織が取り扱う物質およびその排水の特性と関連する潜在的な水質汚染物質を特定し分類していることを示すものです。企業は、事業活動や製品に関連する潜在的な水質汚染物質を特定・分類し、これらを効果的に管理できることが重要です。

水質汚染物質: 水域および/または水生生態系を直接的または間接的に悪化させる/汚染する、あるいは人の健康に影響を及ぼす可能性がある物理的(熱を含む)、生物学的、あるいは科学的作用物質(有機物、無機物、または重金属物質)

完全版 2.5 2.5.1	SME版 該当なし
---------------------	--------------

企業への期待: 企業は、事業活動や製品と関連する潜在的な水質汚染物質を特定し分類し、汚染の削減と管理を効果的に実施する。


水質汚染物質:

- 無機汚染物質
- オイル
- 硝酸塩
- リン酸塩
- 農薬
- マイクロプラスチック



悪影響を最小限に抑えるための行動と手順:

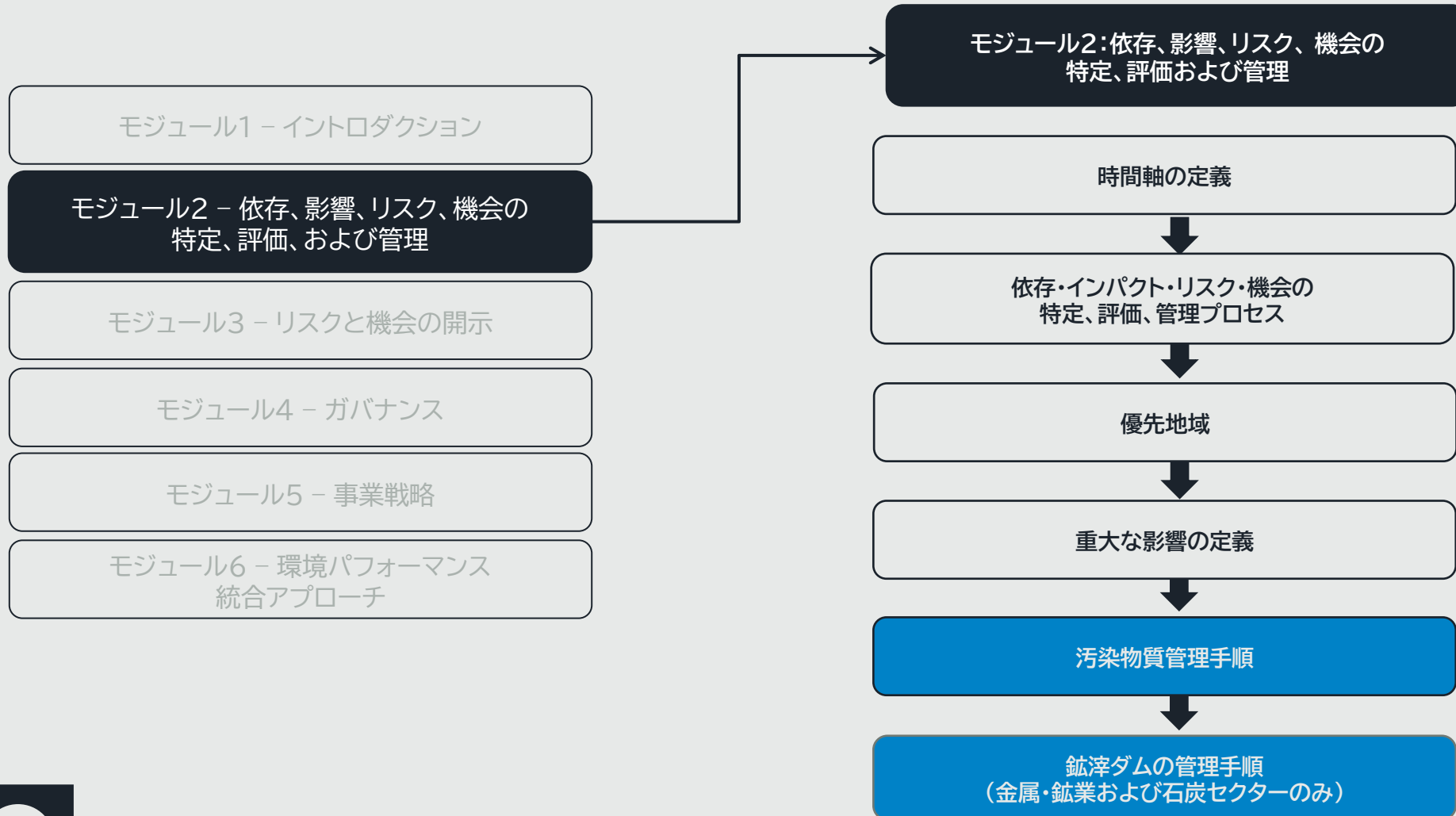
- 重要インフラおよび貯蔵施設の状態(漏出、流出、パイプの腐食等)およびそのレジリエンスの評価
- 統合型の土壌廃棄物管理システムの導入
- 産業/化学品事故の防止、対策、対応
- 有害物質の削減または段階的使用停止



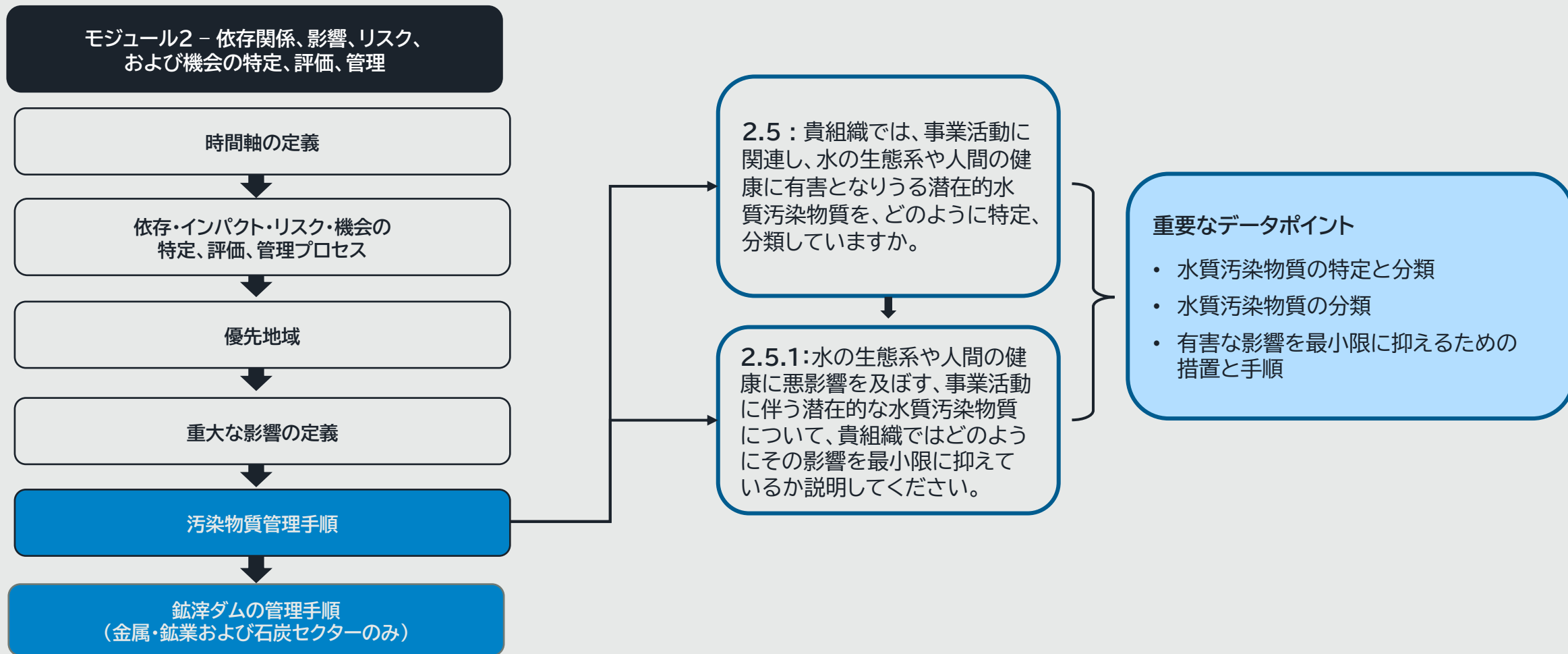
水セキユリテイモジユール 質問の詳細



モジュール2:水に関する重要な質問



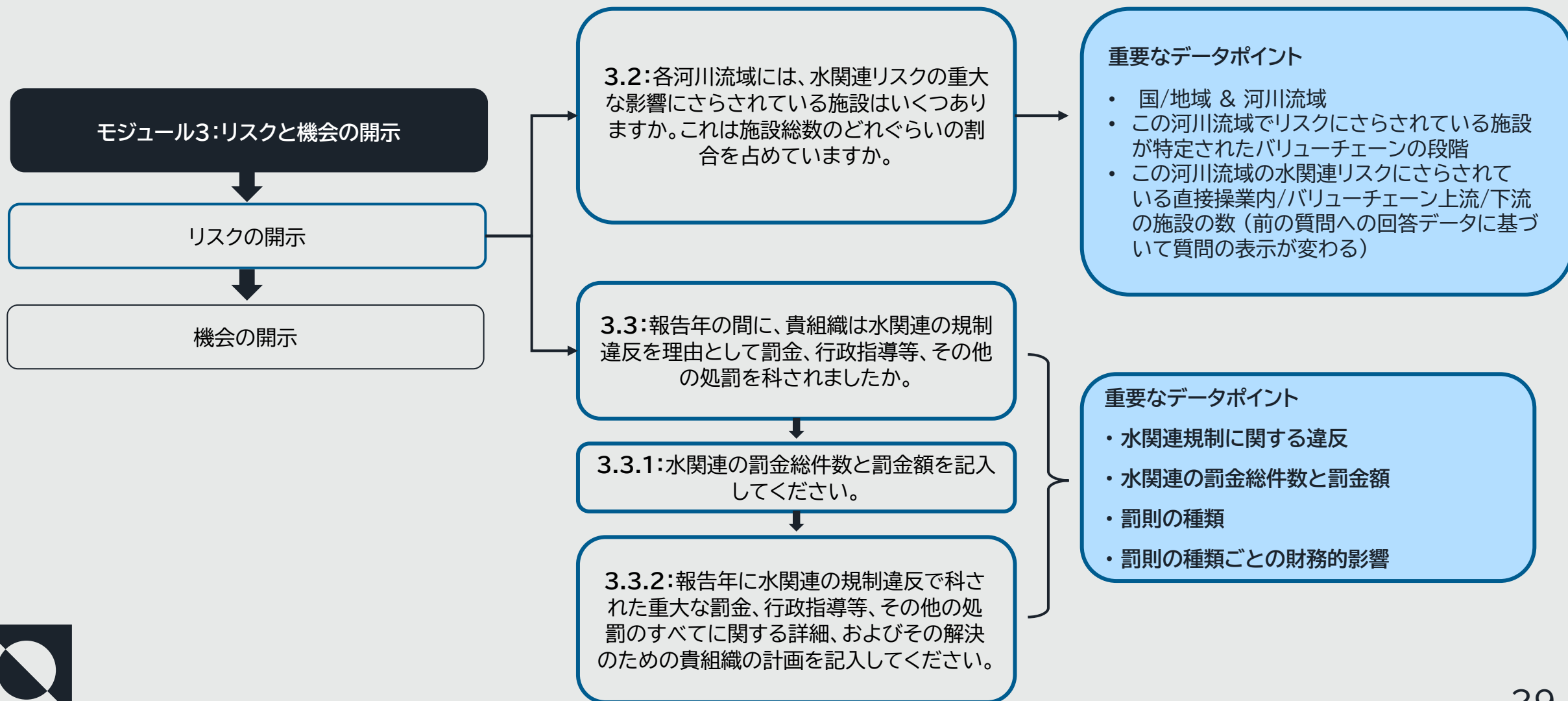
モジュール2：水に関する重要な質問



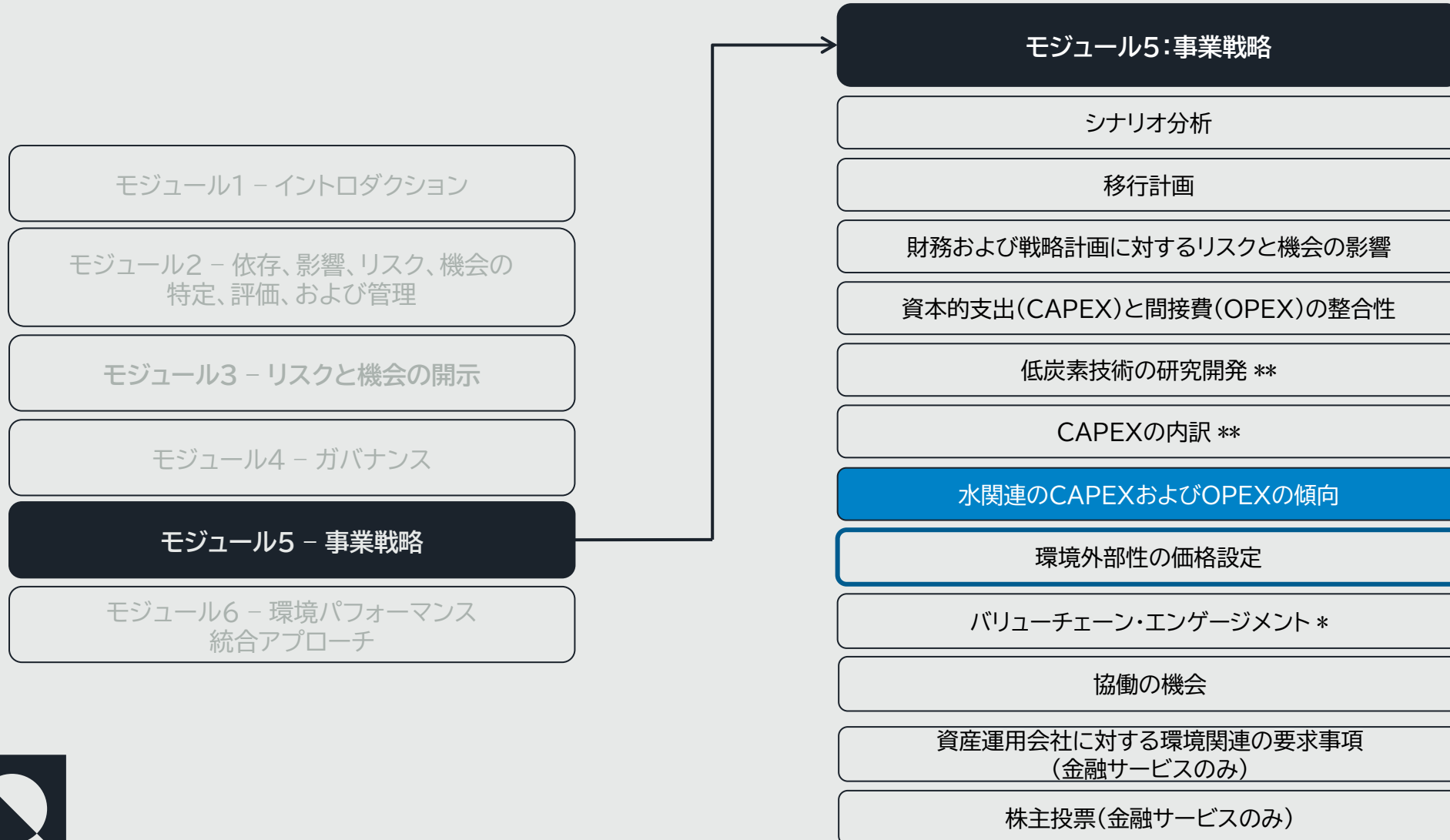
モジュール3:水に関する重要な質問



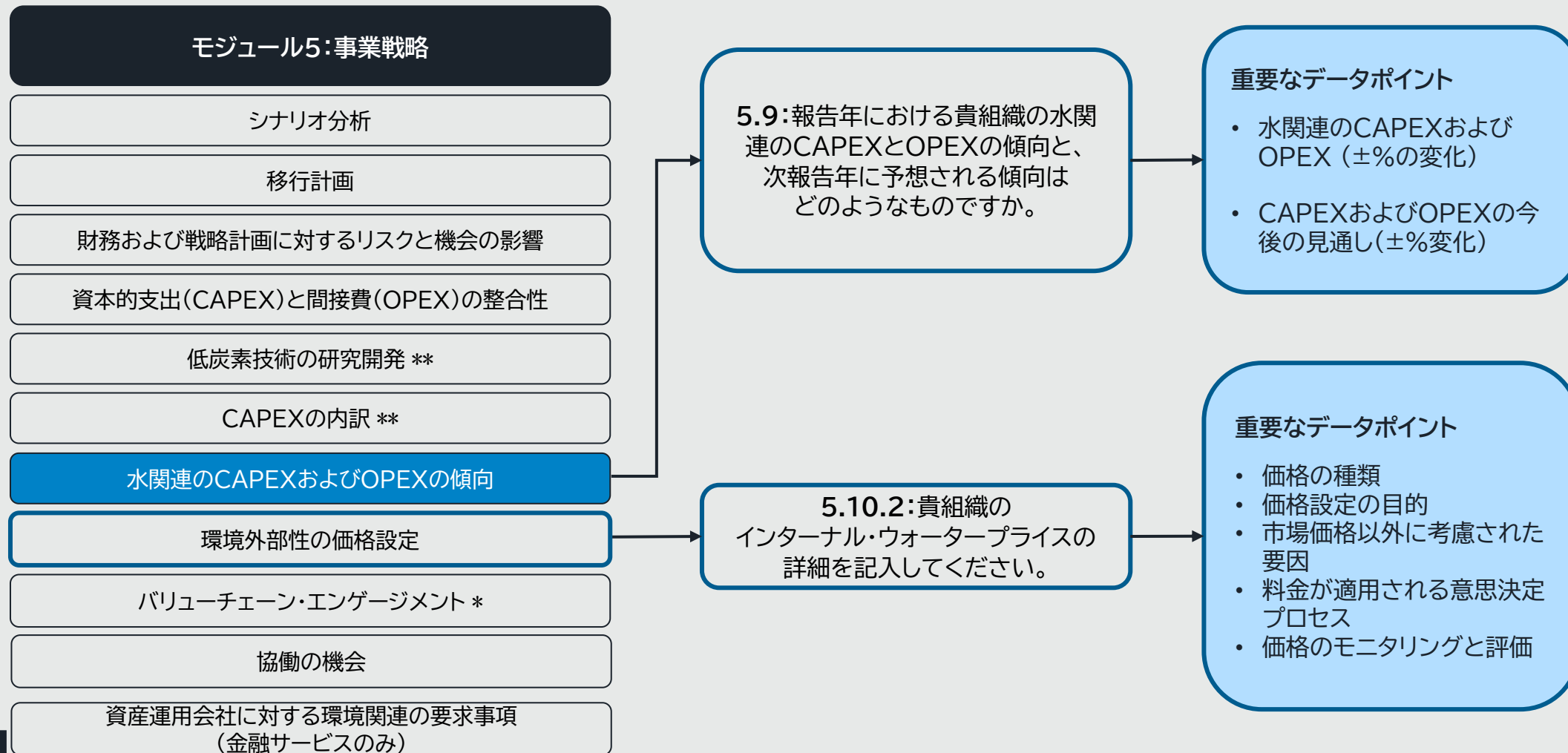
モジュール3:水に関する重要な質問



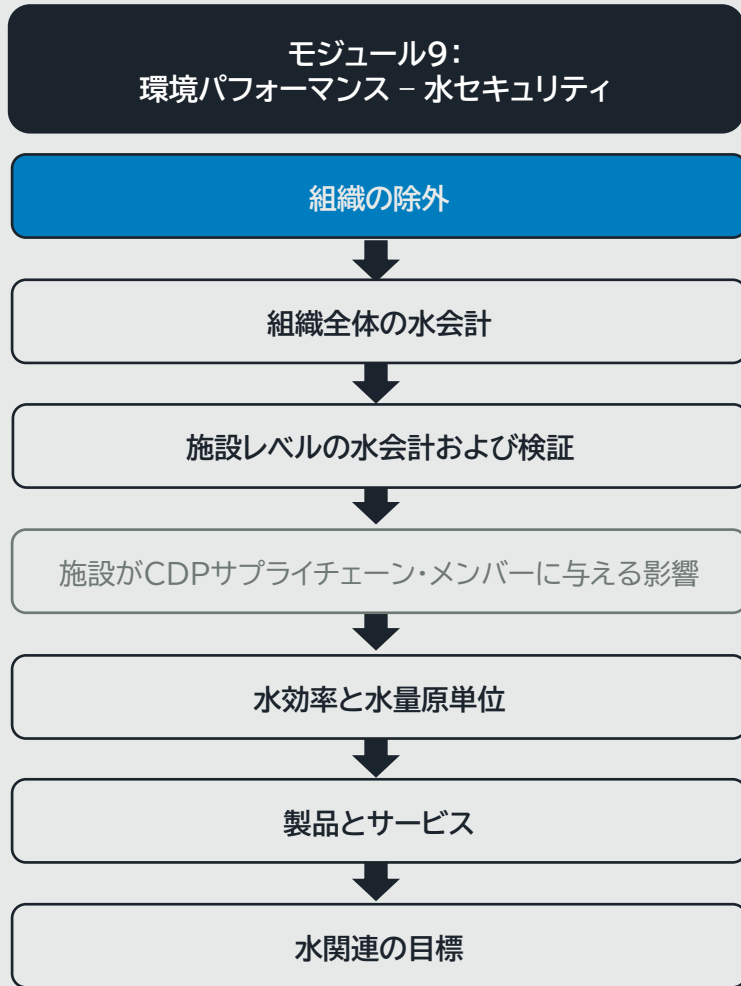
モジュール5:水に関する重要な質問



モジュール5:水に関する重要な質問



モジュール9：除外事項



9.1:水関連データの中で
開示対象から除外される
ものはありますか。

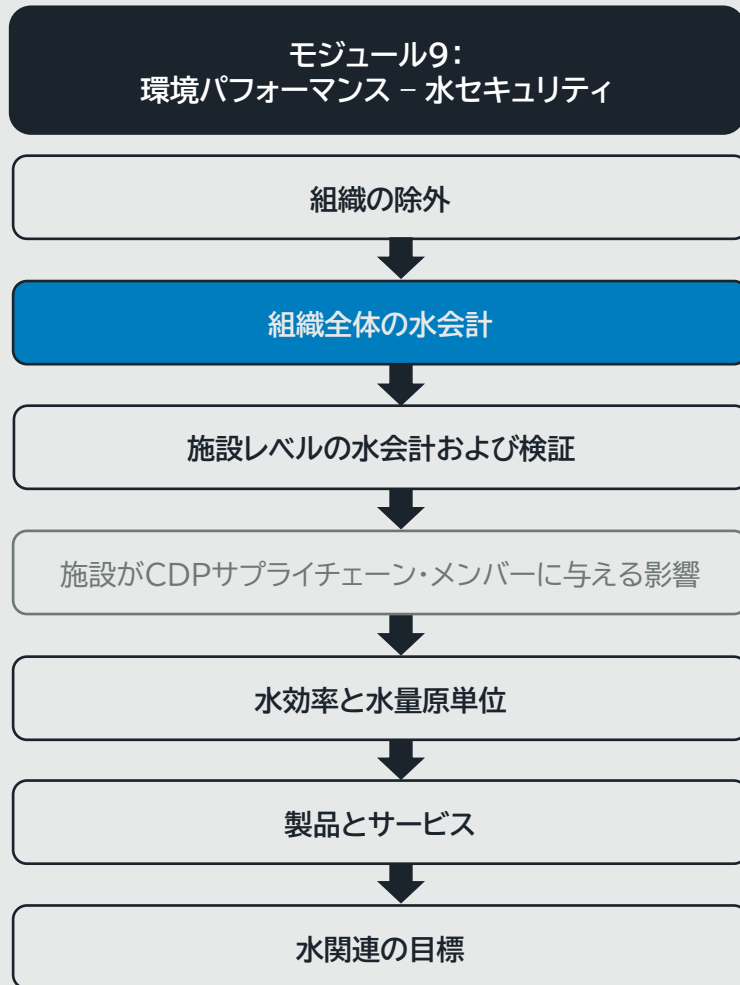
9.1.1:除外項目について
の詳細を記載してください。

重要なデータポイント

- 除外対象の種類と説明
- 除外対象となった水の量が全体に占める割合
- 除外理由
 - 質問9.1への回答で [はい] を選択した場合:
 - データが収集・報告されていない主な理由
 - 「直近の合併・買収」が選択された場合:
 - 合併または買収の完了日
 - 合併・買収のデータは、翌年度の報告に組み込まれる予定です。



モジュール9：組織全体の水会計



9.2: 貴組織の事業活動全体で、次の水に関する側面のどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。

重要なデータポイント

- 水に関する各側面ごとにモニタリング対象となった拠点・施設・事業所の割合

9.2.2: 貴組織の事業全体で、取水、排水、消費した水の合計量と、前報告年比、また今後予測される変化についてご記載ください。

重要なデータポイント

- 取水量、放流量、および消費水量の合計
- 前年度報告との比較
- 5年間の予測

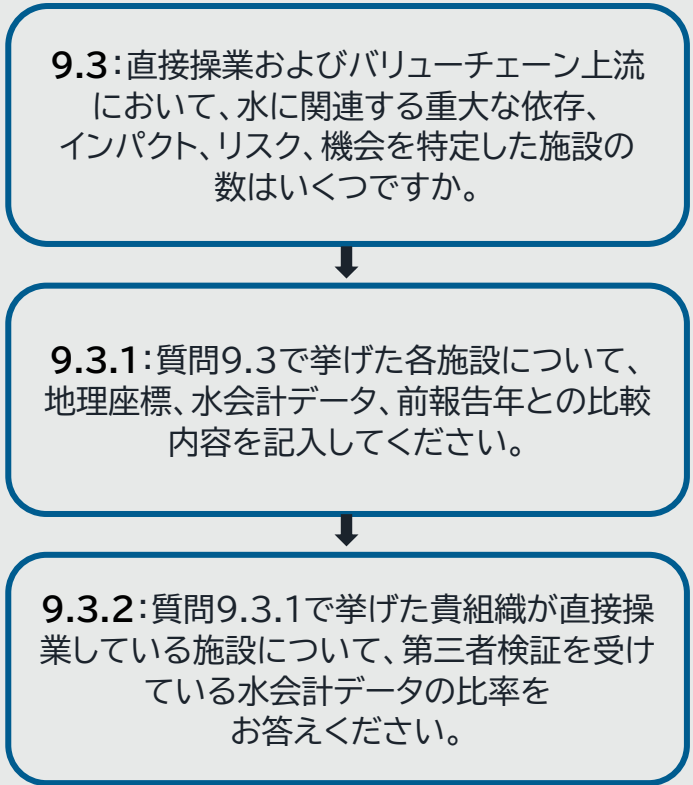
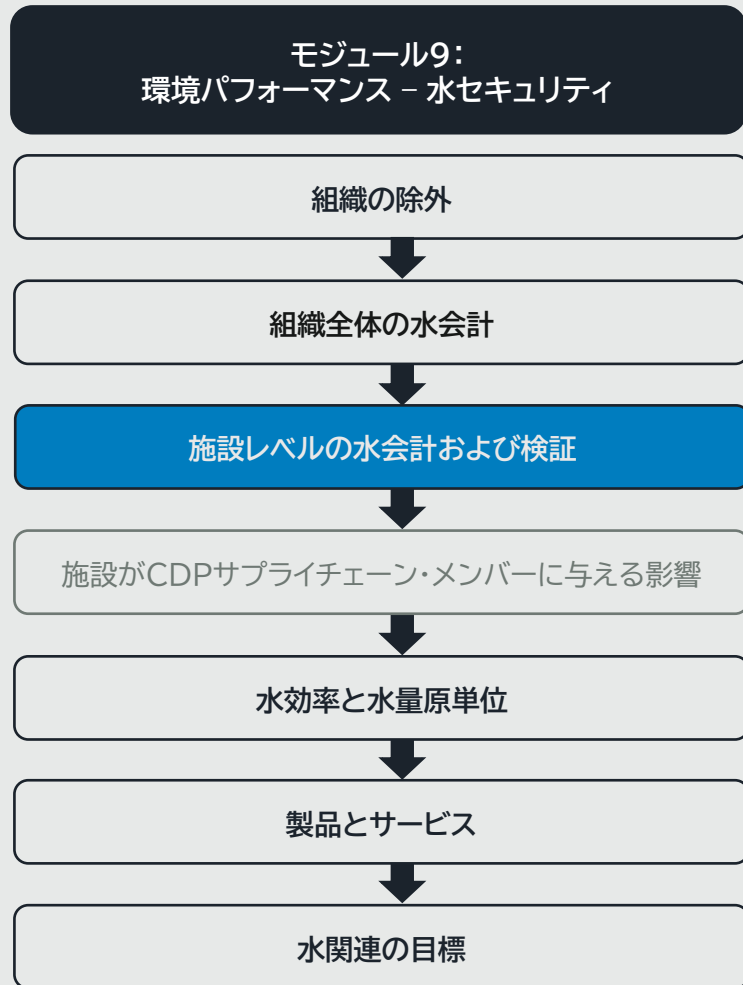
9.2.4: 水ストレスのある地域から取水しているかどうか、その量、前年度との比較、および今後の変化予測について記載してください。

重要なデータポイント

- 水ストレスのある地域からの取水量 (メガリットル)
- 水ストレス地域からの取水量が総取水量に占める割合



モジュール9：施設レベルの水会計および検証



重要なデータポイント

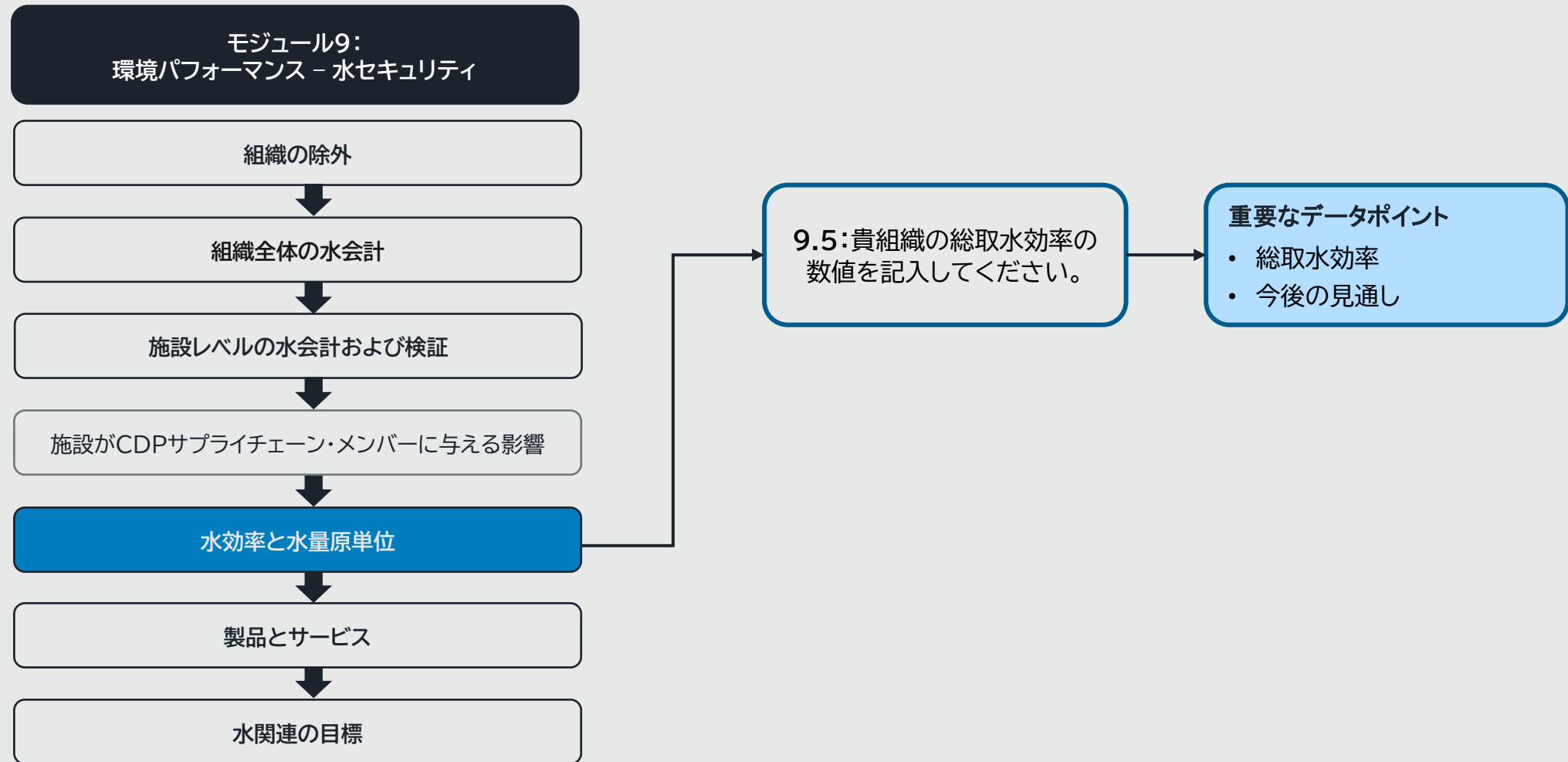
- バリューチェーンの各段階において、水に関連する実質的なDIROがある施設を特定する。
 - 直接操作
 - バリューチェーン上流

各施設について:

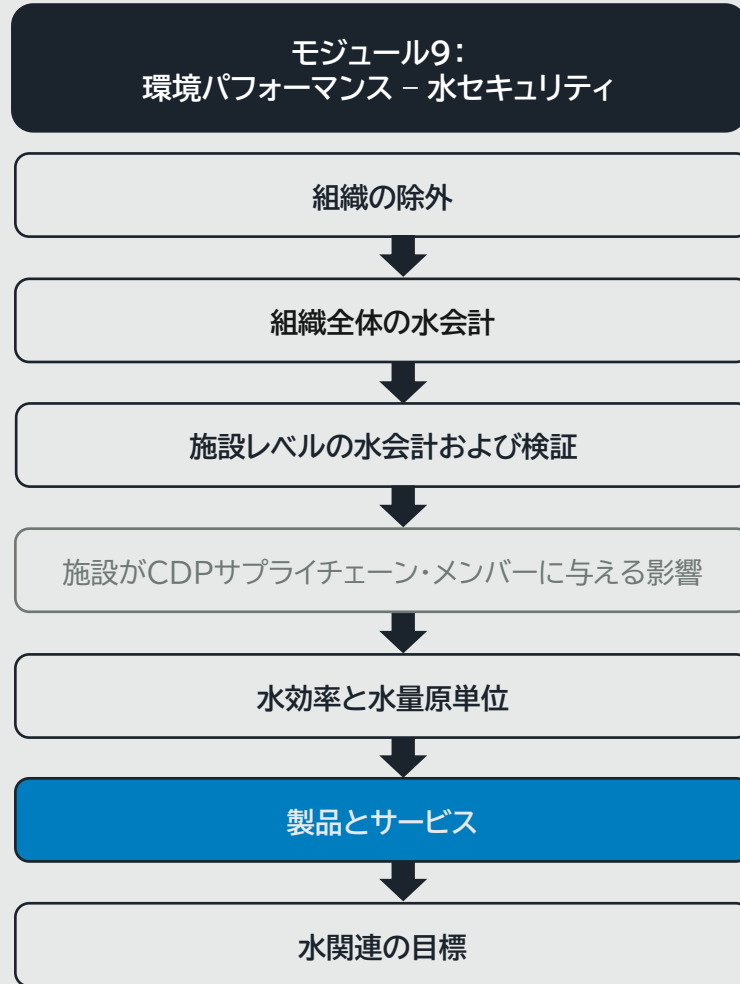
- バリューチェーンの段階
- 特定された依存、インパクト、リスク、または機会に関連するかどうか
- 取水または排水に関連するか



モジュール9：水効率と水量原単位



モジュール9：製品とサービス



9.13: 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴組織の製品はありますか。

9.13.1: 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴組織製品が売上に占める割合を教えてください。

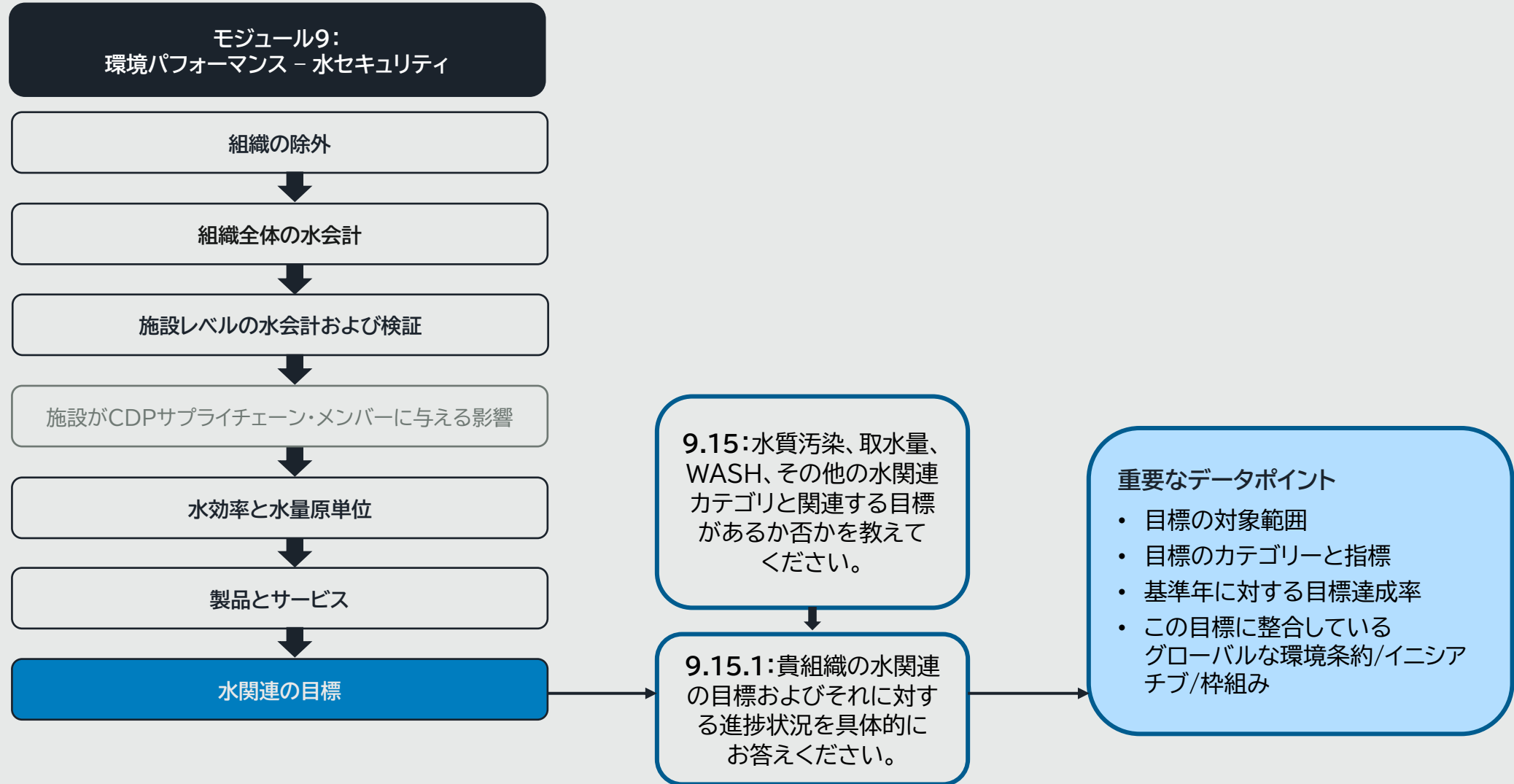
9.14: 貴組織が現在製造や提供をしている製品および/またはサービスの中で、水に対するインパクトを少なくしているものはありますか？

重要なデータポイント

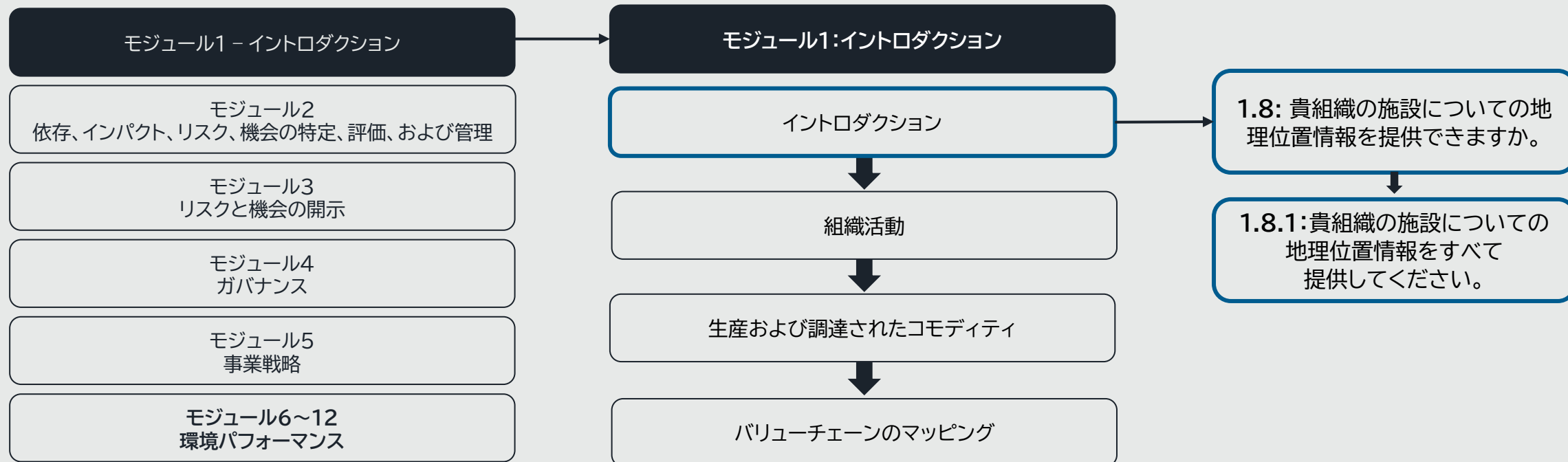
- 有害物質を含んだ製品
- 規制当局による有害物質分類
- 有害物質指定リストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合



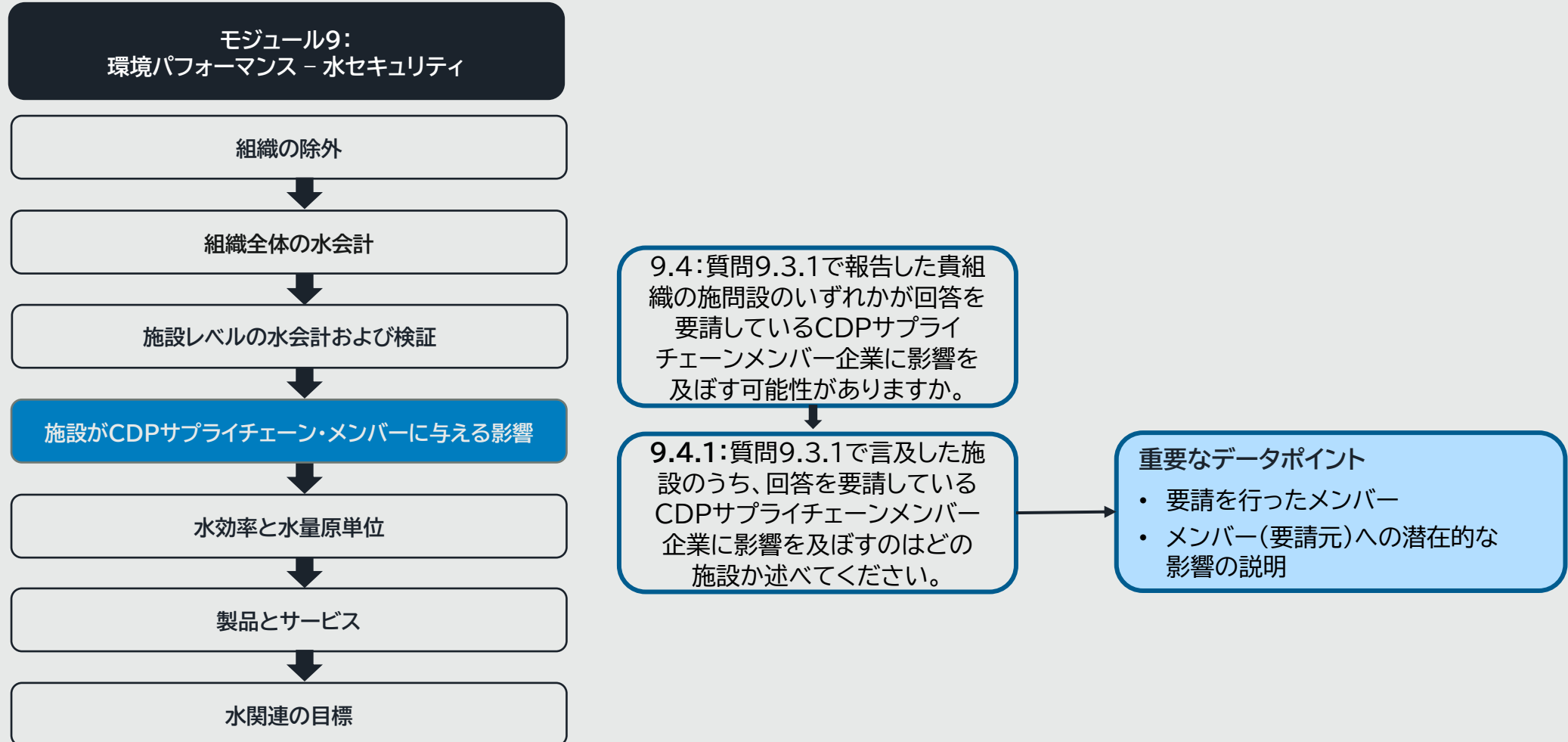
モジュール9:水関連の目標



モジュール1: 水に関するサプライチェーン固有質問



モジュール9：施設が CDPサプライチェーン・メンバーへの影響



An aerial photograph of a vibrant green landscape. A river flows through the center, surrounded by lush vegetation and large, moss-covered rocks. The scene is captured from a high angle, showing the intricate patterns of the terrain and the rich colors of the nature.

サプライヤーにとってのメリット



開示の主なメリット



資金調達環境の改善し、
サプライヤーとしての地位を向上

年間支出額が6.4兆米ドルに上る
270以上の購買企業が調達決定に
CDPのサプライヤーデータを利用
しています。



リスク管理と新たな機会の創出で、
業競争力を強化

コスト削減:カーボンフットプリント
管理の改善により、資源消費の削減、
廃棄物の削減、および業務効率の向上
が期待できます。



コンプライアンス基準への整合

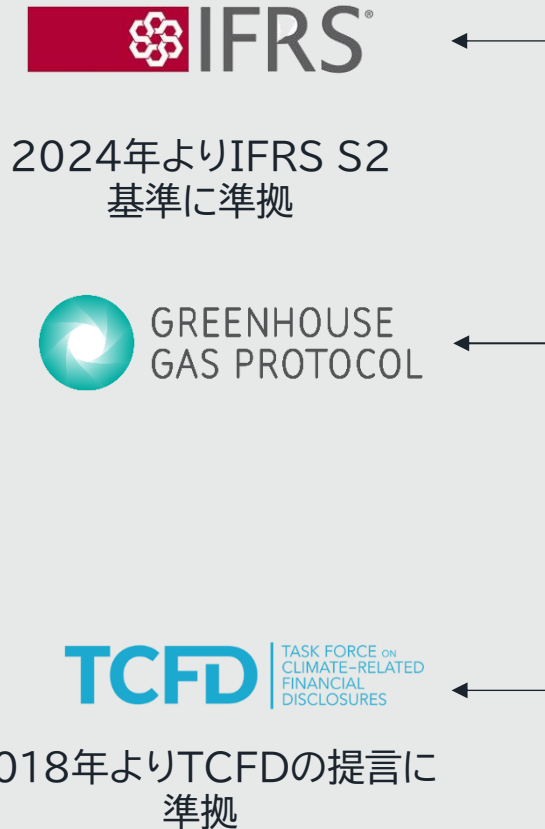
CDPの開示プラットフォームは、
購買企業や投資家にとって情報の
整合性を高めます。



世界中の基準に準拠した開示を可能にする

CDPは、基準を組織が活用できる具体的な形に変換します。回答し、実行すべき質問やデータポイントを提供し、この質の高いデータを単一のデータセットとしてステークホルダーや市場に還元します。

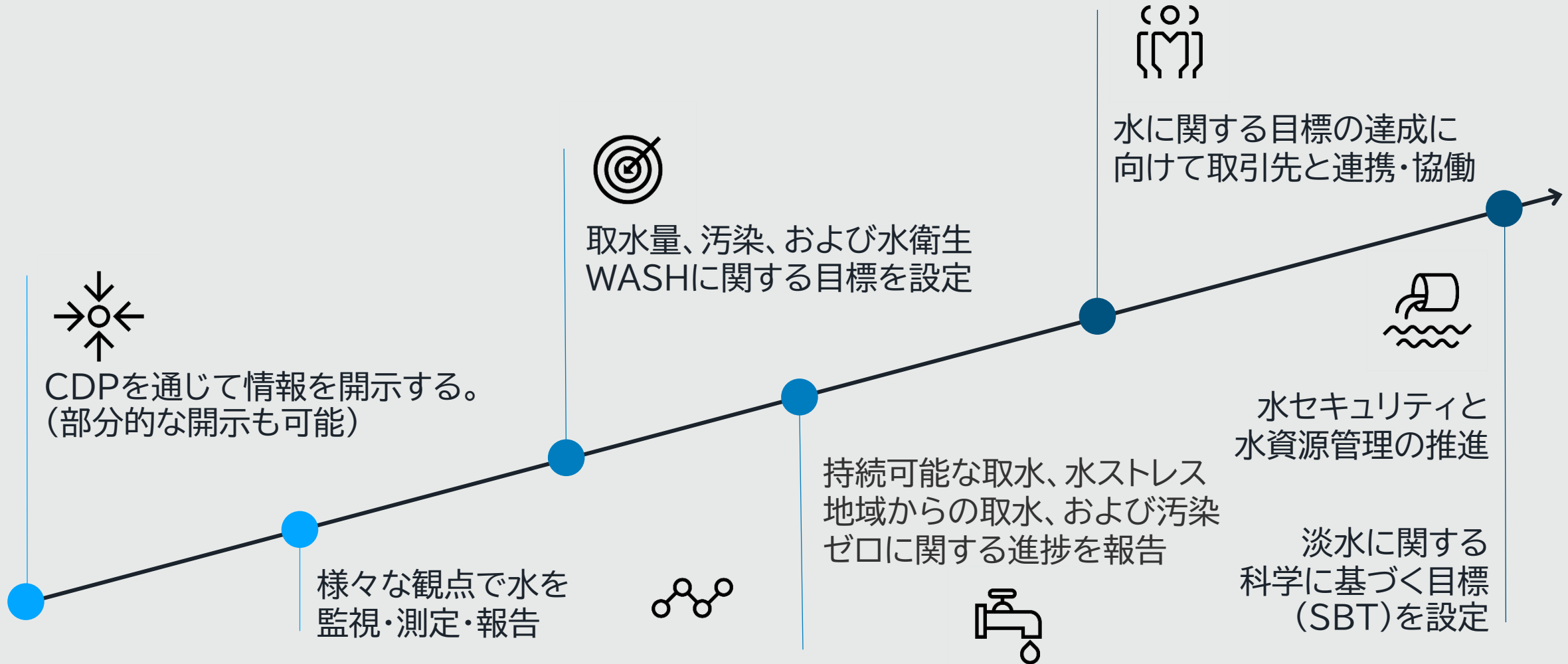
整合済み



整合性の拡大



開示に向けたロードマップ (水セキュリティ)

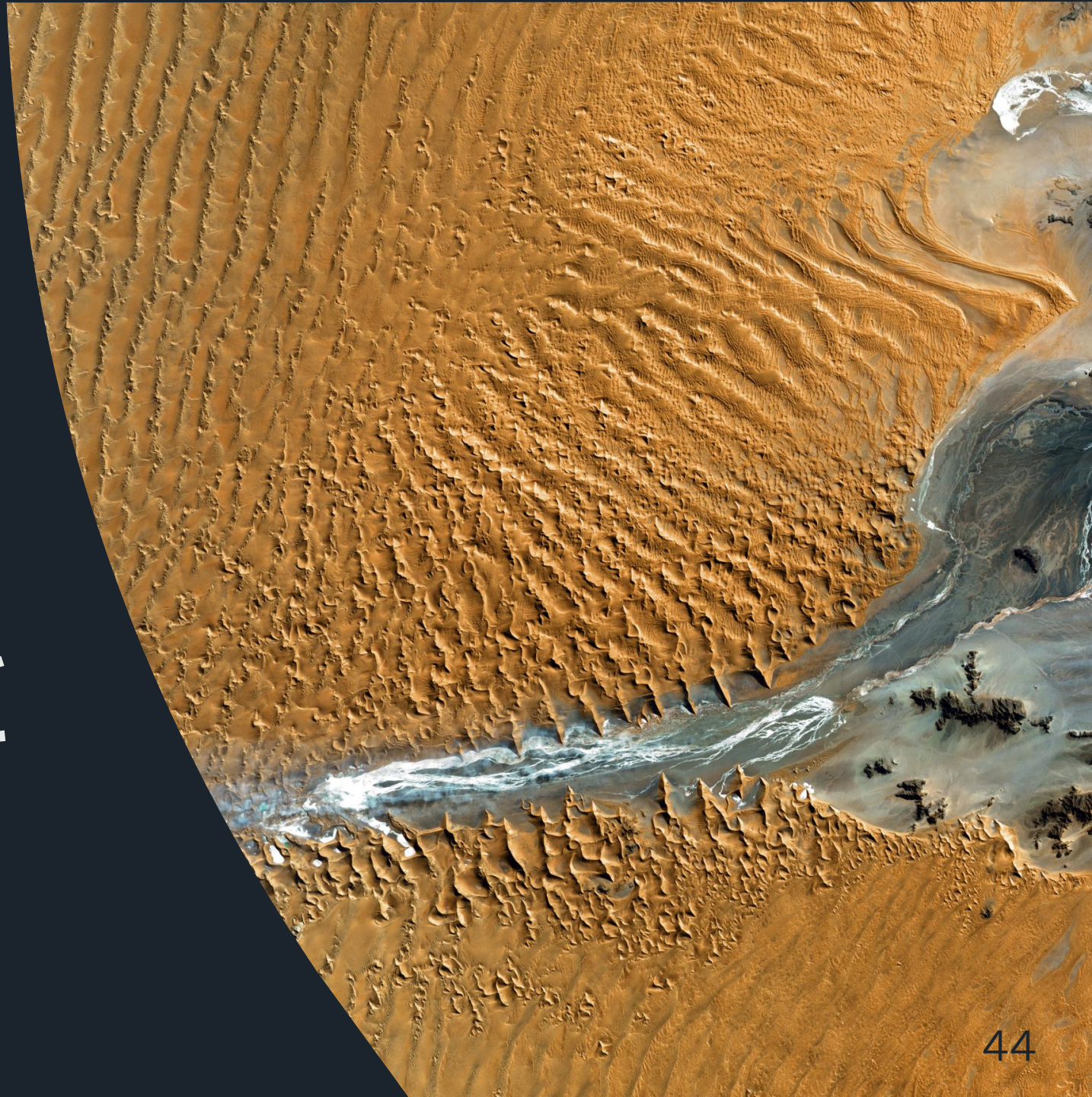


フェーズ1: 基盤の確立

フェーズ2: 能力構築

フェーズ3: パフォーマンスの向上

主なリソースと サポート



主なリソースとサポート

- [2026年のCDPを通じた情報開示](#)
- [2026年の質問書における変更点](#)
- [質問書とガイダンス、スコアリング基準を見る](#)
- [CDP水セキュリティスコアリング必須要件](#)
- [CDPヘルプセンター: ナレッジベースとサポートチケット](#)
- [よくあるご質問](#)



スコアリング対象となる

回答提出期限

2026年9月16日

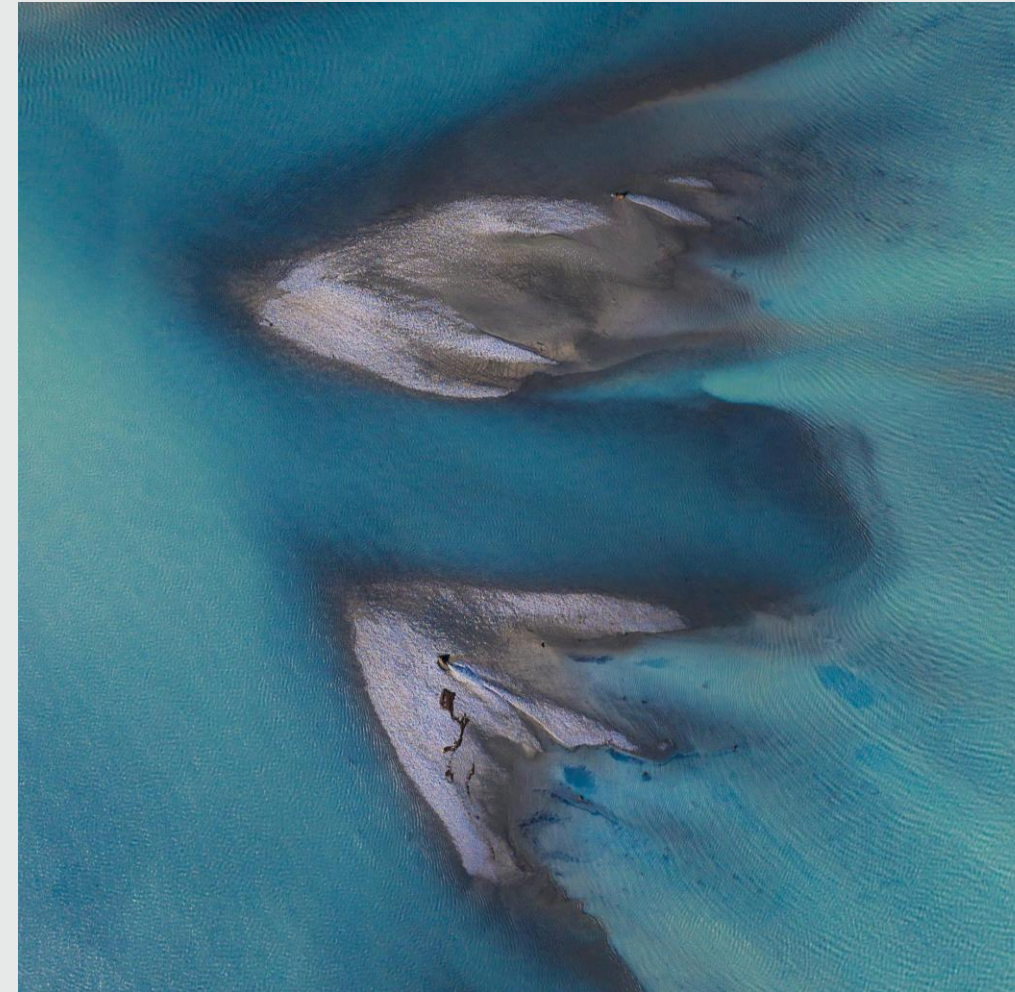


開示ガイダンスのページをご覧ください:

[CDP質問書](#)

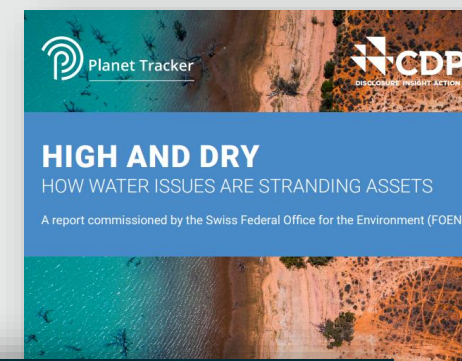
水セキュリティに関するリソース

- CDP
ウォーター・ウォッチ
- 水会計の定義に関する
CDPテクニカルノート(英)
- フェア・ウォーター・
フットプリント(英)
- SBTN淡水ハブ(英)
- WRI Aqueduct
水リスク・アトラス(英)
- WWF水リスク・フィルター
(英)
- CDP
EU規制における
水に関する情報開示(英)
- CDP
企業の水管理と淡水に
関する科学に基づく目標
(英)
- OECD
水リスクを金融システムの
リスク管理に組み込む(英)
- チャタム・ハウス報告書:
国際貿易における水利用の
持続可能性向上(英)



CDPの出版物

- CDPの水セキュリティプログラムは、これまでに10冊以上の「グローバル・ウォーター・レポート」、および複数の関連出版物を発表してきました。
- これらは最先端の水関連データを活用し、重要なトピック、トレンド、議論に関するCDPの主張を広く発信しています。
- これらの出版物は、企業、金融機関、政策立案者、そして市民社会など幅広いステークホルダーに読まれています。



本日はご参加いただきありがとうございました。

ご不明点ございましたら、ポータルにサインイン後、
ヘルプセンターよりお問い合わせください。

